

Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 TEL (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 TEL (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数85名

今週のお祝い

出席100%祝: 4年 小田浩一君 25年 田淵亮達君
本人誕生祝: 2日 秦野愛子君 3日 植田昭君
 4日 長谷川渉君 6日 赤山俊寛君、野坂裕一君
 9日 中川章作君 17日 林俊一君 19日 植田三男君
 25日 笠尾幸広君

会長挨拶

皆さんこんにちは。
 早いもので2月になりました。冬のだ真ん中であり
 ます。
 ロータリーとしては、2月は「ロータリー理解月間」
 でございます。その一環として、本日は前回の卓
 話に引き続き村上一平会員に「ロータリーの友」の
 紹介をしていただきます。

私事ですが、冬と言えば、雪がつき物です。雪と
 言えば、私にとってスキーしかございません。毎年、
 職場から大山にスキーに行きますが、今年も31日
 (木)に行ってきました。31日は、天気にも恵まれ、
 すばらしいコンディションの下にスキーを楽しむこと
 ができました。それともう一つの楽しみはお昼の昼
 食です。我々のテーブルでは、わいわいがやがや
 と大騒ぎしながら、盛り上がりました。

平日に行きますと、思わぬ人と出会うこともありま
 す。実は、昼からもうひと滑りしようとしていますと、
 目の前にすっと滑ってこられた方がいました。「あ
 の方は？」と思ったのですが、名前が出てきません。
 施設の業者さんでもないし、もしかしたらロータリア
 ンかなと思って考え、境港RCの酒井英前ガバナー
 補佐と気づいて声をかけ、「お互いががんばってます
 ね」というようなお話をしました。スキーはシニアス
 ポーツになっています。私どもの年代の方が圧倒
 的に多くなっています。かつては指導員の下にク
 ラブ員が15人ほど並んで教わるというスタイルで
 したが、今は全くそういう姿は見られません。それと
 スキーも若い人にとっては手頃な遊びと言えない

段階にきています。駐車代、リフト代、昼食とビールで
 8000円~9000円となります。今の時代は、若い人
 にとってなかなか楽しむことができない時代なのかな
 と考えさせられました。本日は、一日楽しく遊んできた
 ということで会長あいさつとさせていただきます。あり
 がとうございました。

幹事報告

1. ウィリアム君へ学業支援金授与



2. 1/19 第3回ガバナー補佐会出席お礼状 (G事務所)
3. 3/2 平成24年度米子松蔭高等学校卒業式のご案内
4. 例会変更のお知らせ FAXにてご案内

今後の予定

- 2/24 米子市中学生作文コンテスト表彰式
 10:00~12:00 (ホテルサンルート米子)
 2/27 例会
 (2/13 5RC合同例会中止による振替)



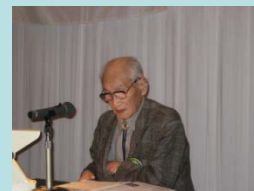
Peace Through service

奉仕を通じて平和を

< プログラム >

「ロータリーの友」雑誌紹介

村上一平会員



ロータリーの友2月号を紹介する前に、なぜ、卓話の大切な時間を使って、こういった紹介をするのかということについて説明させていただきます。

ロータリーには、3つの大きな義務がございます。それは、「会費」と「出席」そして、「雑誌の講読」です。雑誌の方は、国際ロータリーの細則の中に載っており、「会員であるものは、全て購読しなければならない」と書かれています。もし、「クラブで読まないとなるとクラブを除名する」となっています。ご存知のように、RIの会員はクラブであり、我々個人の会員ではないので、クラブに対して罰則が来るのです。と申しましても、アメリカで発行している「ザ・ロータリアン」は英文ですし、もう一つの「ダビスタ・ロータリアン」はスペイン語で書かれており、我々が直接読むわけには参りません。そこで、地域雑誌が許可されており、この地域雑誌が「ロータリーの友」なのです。但し、これにもルールがあり、1ページに「指定記事」というのがありますが、このRI指定記事を「ザ・ロータリアン」から転載しなければならないことになっています。今回の2月号には、この指定記事として、次の3つがあります。

- (1) P1:RI会長メッセージ
- (2) P38:「エバンストン便り」のところに載っている「RI財団管理委員長」の話
- (3) P41:ロータリー入門 です。

このように指定されたものであり、これを読むように決められているわけです。それでは、2月号の紹介

- (1) 表紙について:「雪の白川郷」と「冬の富士山」:縦P35に説明あり
- (2) 表紙における「ロータリーの友」右の5行の中に「昭和28年1月創刊」と書かれている。

これは、テレビ放送と同じで、ロータリーの友も創刊60周年を迎えることになる。

2月は、「世界理解月間」であり、また、2月23日がロータリー創立記念日で「世界の理解と平和の日」になっている。そのため、ほとんどのページが「平和とロータリーの創立」についての記事となっている。

- (3) P1:RI会長メッセージ:「超我の奉仕が生み出す希望と平和」
- (4) P13:「VOICES for PEACE」(平和を求める声)

ここでは、「戦争」ということについて書かれている。

ロータリーには、国という概念がない。ロータリーの組織は、クラブがあって、地区があって、34のゾーンがあって、RIというようになっている。ここで、ゾーンとは、RIの選挙において定員を平均化するために作られたものである。尚、当クラブは第3ゾーンになっていることを知っておいてほしい。

- (5) P41:ロータリー入門(GLOBAL OUTLOOK):ロータリアンのためのポリオ撲滅アドボカシー入門
- (6) 縦書き:「チェルノブイリ原発事故のその後と福島」以外は軽く、さらっと読める感じであった。

年男放談⑥

佐田山 有史 会員



年男ということで少しお話をさせていただきます。首が悪いものでネクタイをしないでおります。失礼致します。

私がロータリーに入りましたのは平成7年3月1日です。来月で丸18年になります。その当時は、42歳で最年少でしたが、その後、杉本さんに抜かれてしまいました。当時、一緒に入会したのが、川端恵美子さん、秦野愛子さんでした。当時、女性入会は鳥取県西部5RCで始めてであったと思います。一早く男女平等ということに心を開いたのが米子東RCであったと記憶しています。

私にとってRCとは、「安心できるよい仲間との出会い」であると思います。出会いの連鎖の例を紹介しますと、私は、平成8年ごろに韓国大邱市にある大邱南RCを訪問しました。そのときに、年配で日本語の達者な徐さんという方から「大邱市に日本のお墓があるから行って見ないか」と声をかけられ一緒に行ってきました。そこに、水崎林太郎さんという方が3万坪位の灌漑用水地をつくられました。この灌漑用水池によって当時、間伐で困っていた地域一帯が大変豊かになったとのこと。その水崎さんがなくなる時にこの池の見える小高い丘のところ自分を埋めてほしいと言って亡くなられ、お墓ができたわけです。当時、そのお墓はあまり整備されてなく、その方の墓を友好のシンボルとして整備したいということで市に掛け合ったり、寄付金を集めたりして、現在はきれいな墓に変わっています。そういった縁もあり、私は現在、水崎林太郎先生

のお墓の顕彰碑の会長になっており、毎年4月に慰霊祭に参加しています。この慰霊祭には、釜山の日本総領事夫妻も参加され、厳粛に「荒城の月」を歌ったりしています。このことが縁で釜山の日本総領事主催の「ジャパンナショナルティレセプション」という平成天皇誕生日に日韓親善のパーティーがあり、ここにも毎年参加させていただいています。

昨年は、私の娘が、そのパーティーで日本の「さくら、さくら」と韓国歌曲「懐かしい金剛山」、イタリアの歌曲「カンパイ」等を歌って感謝状を頂きました。

それと、先ほどの徐さんの竹馬の友が元駐日韓国大使であり、その方との交流が始まって、現在、娘の後援会名誉会長をしていただいています。また、その方が駐英韓国大使もされていた関係でチャールズ皇太子の晩餐会に2度招待されることができました。ということで、「いい出会いの連鎖」ということがロータリーにはあると思っています。

もう一例を挙げますと、とても難しい事業に直面し、同じロータリアンのゴルフ仲間である宮本さん、種田さん、井上さん、永見さん、植田さん等々に相談したことがあります。そのとき、永見さんの一言「サダヤん、この仕事は難しいけん止めとけよ。冬山にお前一人投げ出すわけならんけん。登る勇氣よりも、立ち止まって下山する勇氣を持ったほうがよいのではないか」というアドバイスを受けました。まさに米子東ロータリークラブ経営者としてのすばらしい感性と仲間を思う気持ちを肌身に感じた次第です。私の経験上、よい人はよい仲間を持っています。それがロータリークラブではないかと思っています。

米子東RCの多くの友人に感謝し、これからもすばらしい出会いを大切にしていきたいと考えています。20代は、20Km/hのスピードで過ぎていく。30代は、30Km/hのスピードで過ぎていく、そして、60代は、60Km/hのスピードで過ぎていく。と言われますが、これからの第3の人生を60Km/h位の安全運転で歩んでいきたいと考えています。ありがとうございました。

年男放談⑦

長谷川 渉 会員



失礼致します。時間を10分と聞いていましたが、残り5分となりました。何とかまとめて話させていただきます。

私は、平成21年8月に入会させていただいて、4年目になっています。お昼の例会には何とか参加したいと目標を立てていますが、会議とかイベントが水曜日に多くあり、なかなか参加できないためにメーキャップをしている次第です。今年は、一日でも多くお昼の例会に参加することと、戸田リーダーの下、社会奉仕委員としてもしっかりとがんばっていきたくと考えています。

会社の方のPRを少しさせていただきます。私は保険会社に勤めていますが、最近、特に入院給付金というのが増えてきています。その中で一番多いのがガンによる特約です。3大疾病であるガン、心筋梗塞、脳卒中になると一時金として300万円～500万円まで支払う特約ですが、その支払いが多くなってきています。男性の方でガンになる確率は53%、女性が40%です。一般的には、男性は、胃がん、肺がん、大腸がんの順が多いですが、当社の支払いでは、ダントツに大腸がんが多く、次が胃がん、肺がんとなっています。一方、女性の方は、大腸がん、乳がん、胃がんの順になっていると言われますが、当社の支払いではダントツに乳がんが多く、そのあと、子宮がん、大腸がんとなっています。4月には、また、ガンに対する特約が出るようになっていきます。よろしくお願いたします。

実は、私も、身長178cmで体重が93Kgでして、かなりのメタボになっています。会社の方からも「特定保健指導対象者」ということで、いかにやせるかの指導を受けているところです。何とか、今年は、この体重を80Kg台にして健康管理に努めていきたいと考えています。そのため、特に大好きなアイスクリームを最小限に抑えていきたいと考えています。私は、お酒とアイスクリームとどちらをとるかと言うと、アイスクリームをとるほうでして、なかなか難しい面もありますが、気をつけていきたいと思えます。

最後に、余談ですが、私の祖母が今年の3月27日で満108歳になります。調べたところ、鳥取県で第5位だそうです。ここまできたら、鳥取県第1位を目指そうと家族で話し合っています。この祖母が健康に一番いいのは、「酢の物」である。と言っています。最近は、黒酢とか体にいい食品もあるので、今年は酢の物をたくさんとって健康管理に気をつけていきたいと思えます。ご静聴ありがとうございました。

次回プログラム

2/27 「PM2.5とは？その予防と対策」	荒川圭三会員
3/ 6 「ロータリーの友」紹介 「私の職業」	南葉健一会員